

2022年3月期第1四半期 決算説明

2021年8月
日本ケミコン株式会社

1-1. 2021年度 第1四半期 実績

コロナ禍からの正常化で旺盛な需要回復 + 構造改革の実行 = 増収、増益

(単位：億円)	2021年度	2020年度	前年同期比	
	第1四半期	第1四半期	増減	増減率
売上高	333.8	237.8	+96.0	+40.4%
営業利益	18.1	△3.1	+21.2	—
売上高比率	5.4%	△1.3%	+6.7pt	—
親会社株主に帰属する当期利益	15.1	△6.1	+21.2	—
売上高比率	4.5%	△2.6%	+7.1pt	—
設備投資	8.9	8.3	+0.6	+7.6%
減価償却費	14.4	14.5	△0.0	△0.0%
研究開発費	10.0	9.4	+0.6	+6.9%
平均為替レート	USドル／円	109.49円	107.62円	1.7%の円安
	ユーロ／円	131.96円	118.48円	11.3%の円安

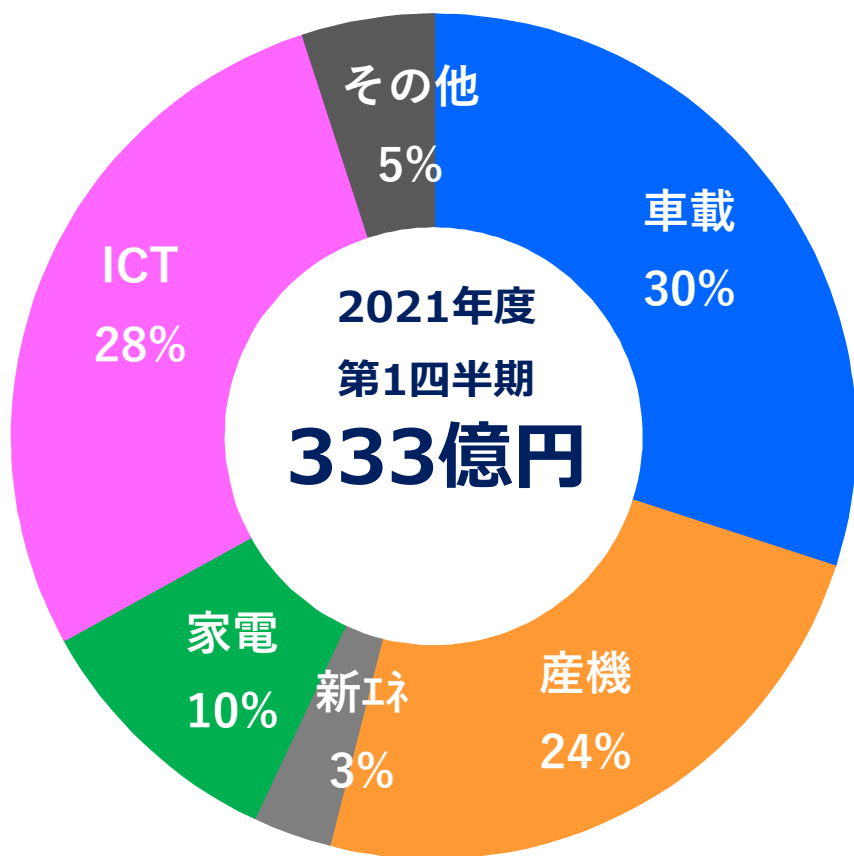
1-2. 2021年度 第1四半期 実績（製品別売上高）

車載・産機市場がグローバルに回復 → 特に、アルミ、DLCAP、セラコン・バリスタ増収

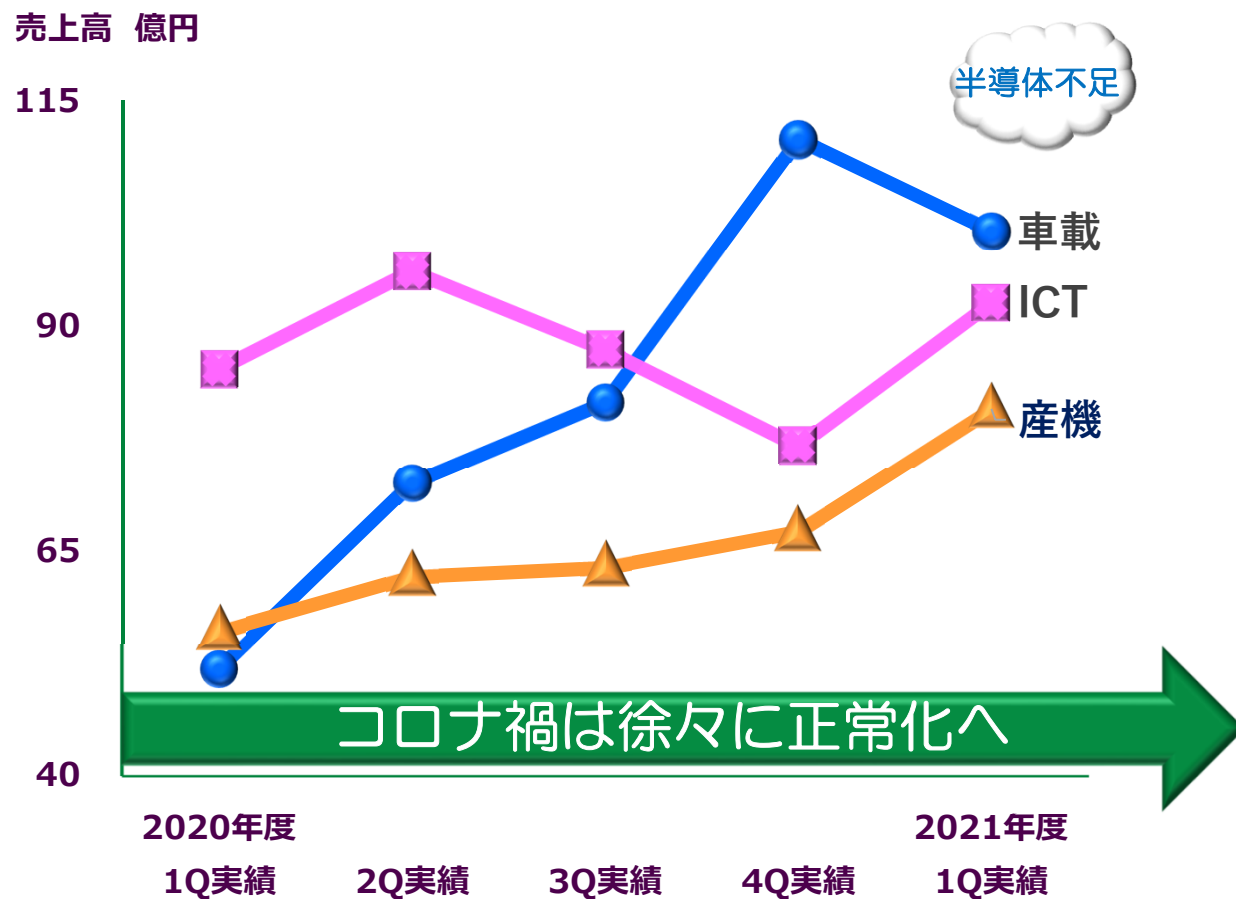
(単位：億円)	2021年度	2020年度	前年同期比	
	第1四半期	第1四半期	増減	増減率 (%)
アルミ電解コンデンサ	291.1	201.3	+89.8	+44.6
・アルミ電解コンデンサ	245.6	167.5	+78.0	+46.5
・導電性高分子、ハイブリッド	45.5	33.7	+11.7	+34.9
DLCAP™	7.3	5.4	+1.8	+34.4
セラコン・バリスタ	8.0	6.1	+1.9	+32.6
機構	7.0	6.0	+0.9	+15.3
コンデンサ材料	15.4	14.1	+1.3	+9.4
その他	4.8	4.7	+0.0	+1.2
合計	333.8	237.8	+96.0	+40.4

1-3. 2021年度 第1四半期 市場別売上推移

市場別売上比率



主要3市場別売上推移



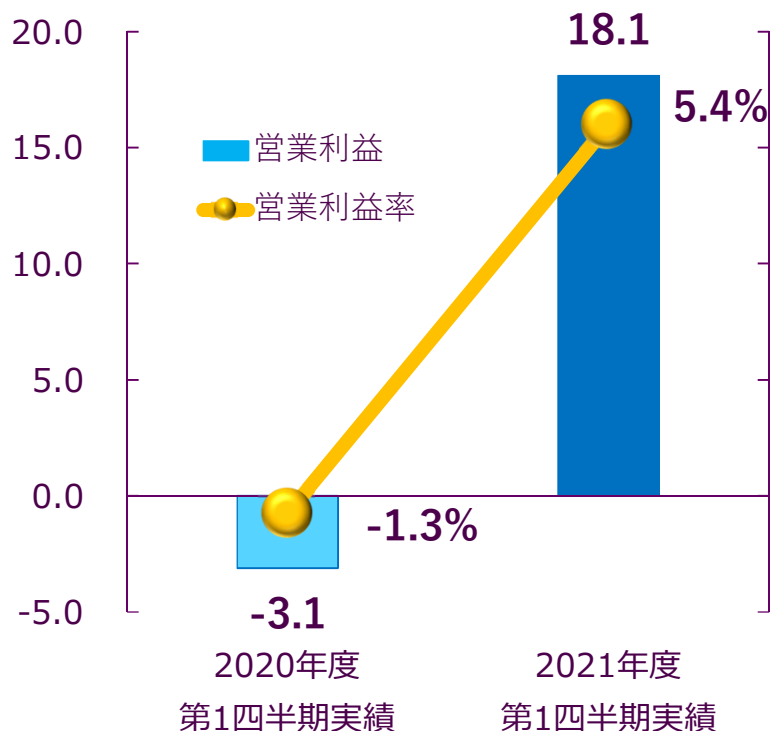
1-4. ① 2021年度 第1四半期実績 前年同期比 営業利益増減

収益改善要因 ① 売上増加 ② コストダウンの実行 ③ 為替変動 ④ 売価変動

収益悪化要因 ① 販売管理費増加 ② 材料費増加 ③ 製造固定費増加 ④ その他

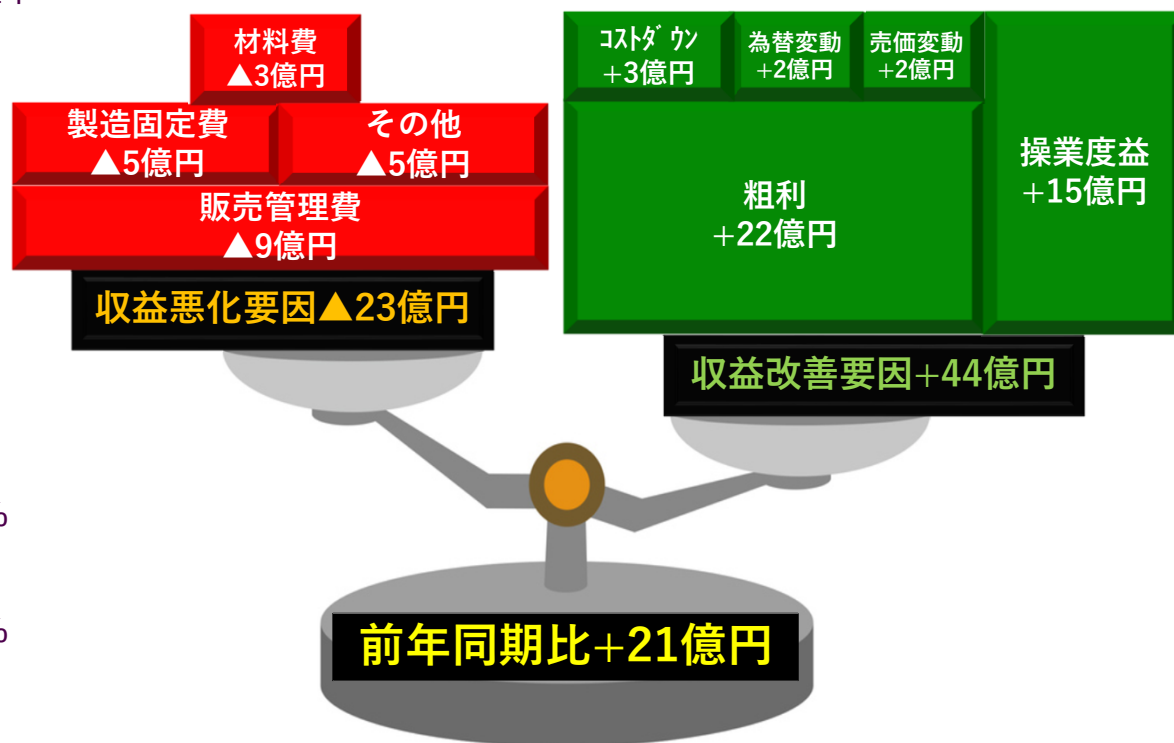
営業利益推移

営業利益 億円



営業利益増減要因

営業利益率



1-4. ② 2021年度 第1四半期実績 対前四半期 営業利益増減

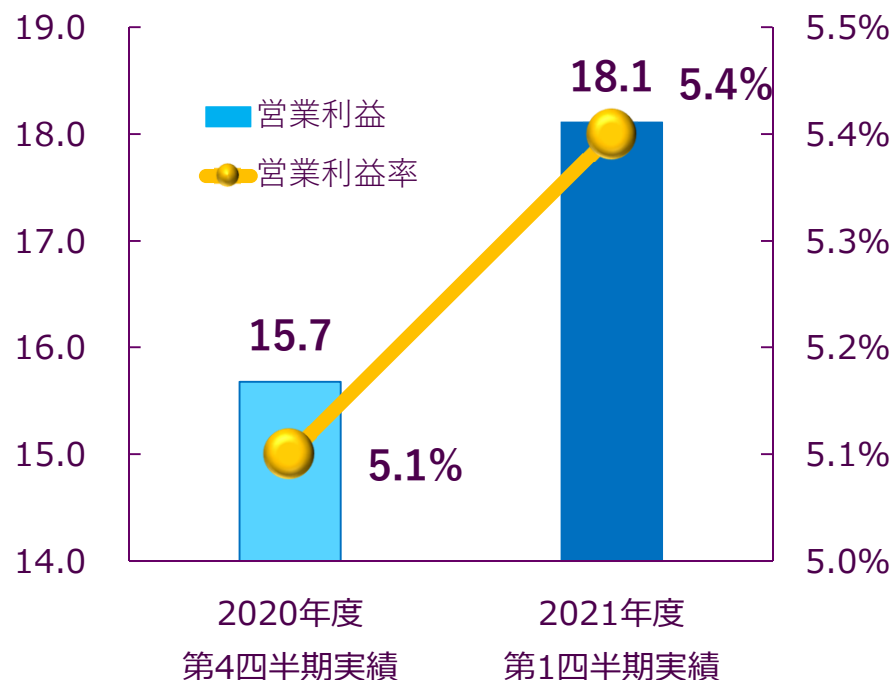
収益改善要因 ① 売上増加 ② コストダウンの実行 ③ 為替変動 ④ 売価変動

収益悪化要因 ① 販売管理費増加 ② 材料費高騰 ③ 製造固定費増加

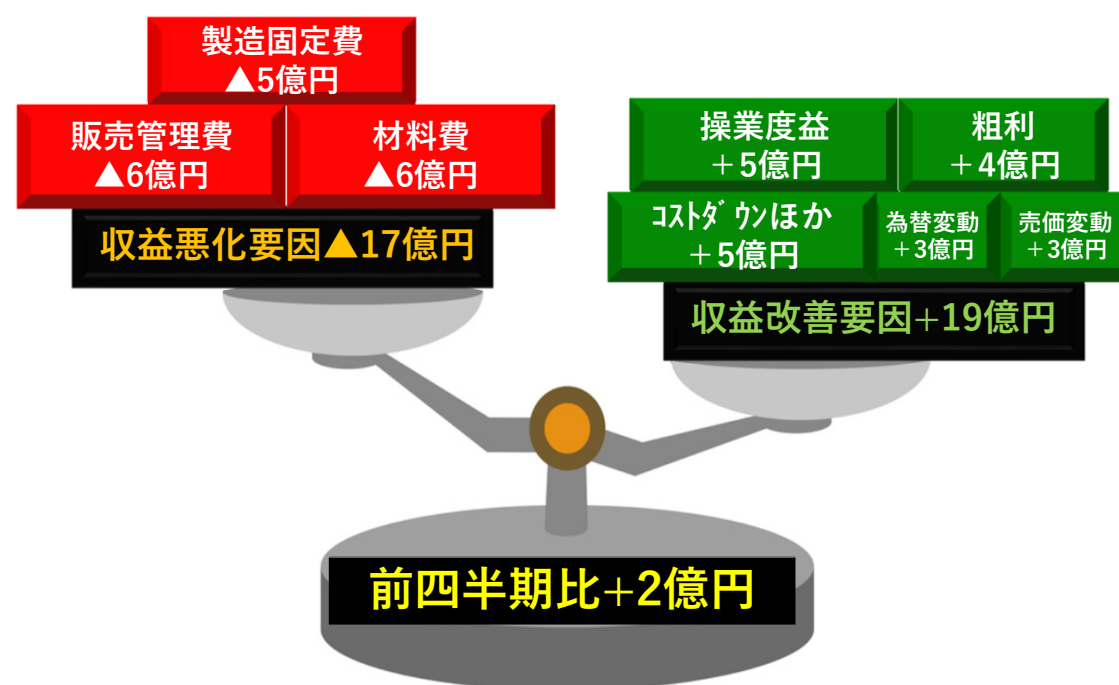
営業利益推移

営業利益 億円

営業利益率



営業利益増減要因



1-5. 構造改革による業績改善効果（2019年度比）

好調な需要を背景に生産性と操業度が向上し、構造改革効果は計画以上の達成
業績改善効果 第1四半期実績 12億円（進捗度32%/2021年度計画38億円）

主要施策	2021年度計画	第1四半期実績	進捗状況
① 固定費削減 人件費削減、減価償却費など	20億円	4.6億円	ほぼ計画通り
② 生産性向上による改善 スマートファクトリー化推進 電極箔事業高稼働体制の確立	7億円	5.0億円	計画以上
③ 新商品による高収益化	11億円	2.4億円	ほぼ計画通り
合計	38億円	12.0億円	計画以上

2-1. 2021年度業績見通し（COVID-19による影響、市場動向）

・ 生産体制

マレーシア、インドネシアでのコロナ感染拡大により、生産への影響は一部あるものの、その他地域の生産を増やし対応する。

・ 地域状況

ワクチン接種の普及により、欧米の景気回復が進んでおり、日本、アセアン市場も続いて徐々に回復する見通し。

・ 主要市場動向

- ① 車載は、半導体不足の影響はあるが、欧米の新車需要回復が進み、半導体の生産回復が追いかける形で伸張する見通し。
- ② 産機は、全市場の設備投資が好転しており、力強い回復が継続する。
- ③ ICTは、通信5Gの普及が中国以外でも徐々に進展する見通し。

2-2. 構造改革の着実な実行

「景気変動に左右されない収益構造と市場環境の変化に対応できる経営基盤の構築」

1. 確固たる収益体質への転換

- ・OEE、TEEP&パーヘッド向上による増員・増備なき増量対応
- ・スタッフの生産性向上
- ・標準化の推進

2. 次なる成長に向けて

- ・10年後、20年後に向けての成長戦略立案と実行
- ・商品企画改革の実行
- ・スマートファクトリー構想の具現化

今後ともご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

〔注意事項〕

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測につきましては、本資料作成時点において入手可能な情報により当社が合理的に判断した予想であり、実際の業績は、今後、様々な要因により変動する場合がございます。また、本資料に記載されている将来予想に関する事項についてその内容を更新し、公表する責任を負いませんのでご了承願います。投資に関する最終決定につきましては、投資家の皆様ご自身の判断で行われますようお願い致します。本資料の内容に基づいて投資された結果、万一何らかの損害を被られましても、当社及び各情報の提供者は一切責任を負いかねますので、併せてご了承願います。

〔Note〕

The projected performance figures in this material are based on information available to Nippon Chemi-Con's management at the time this material was prepared.

There are many uncertain factors inherent in forecasting, and there might be cases in which actual results differ from forecast values. Nippon Chemi-Con undertakes no obligation to publicly update or revise any forward-looking statements included in this material.

If you are interested in investing in Nippon Chemi-Con, you are requested to make a final investment decision at your own risk.

Please note that neither Nippon Chemi-Con nor any third party providing information shall be responsible for any damage or loss you may suffer due to investment in Nippon Chemi-Con based on the information shown in this material.